

SWOT 分析レポート：建設資材卸・木材加工業

【Strengths | 強み】

- ▶ 地場ネットワークと既存の販路基盤：地元建設会社や製鉄所との長年の取引により、価格交渉力と安定供給体制を保有。
- ▶ 木材加工の内製化による差別化：自社内で木材加工を行うことで、短納期・柔軟対応が可能。
- ▶ 資材卸+加工という複合モデル：単なる卸売にとどまらず付加価値を付けた形で販売できるモデルを構築。
- ▶ 建設業以外の複数事業を有する多角経営：建設業界の景気変動に対するリスクヘッジとなる。
- ▶ SDGs・脱炭素社会に即した木質資材ニーズへの先行対応。

【Weaknesses | 弱み】

- ▶ 営業力・マーケティング機能の脆弱性：案件の引き合いがあっても受け身になりがちで、拡販戦略が不足。
- ▶ デジタル対応の遅れ：受発注や在庫管理が紙ベース、または古いシステムに依存しており生産性が低い。
- ▶ 属人的な知識の蓄積：熟練者の経験や取引ノウハウが明文化されておらず、世代交代が進まない。
- ▶ 木材価格の変動リスクに対するリスクヘッジ不足。
- ▶ 製鉄所依存度が高く、特定顧客への偏重がある。

【Opportunities | 機会】

- ▶ 公共工事の木造化推進：国や自治体の木材活用促進策によって、新たな販路の可能性が広がる。
- ▶ 脱炭素・カーボンニュートラル需要：コンクリートや鉄と比べて環境負荷が低い木材の活用拡大。
- ▶ スマート建築、IoT 住宅への対応資材の需要：断熱・調湿・センサー対応の建材などへの転換。

- ▶ 空き家リノベーション市場の拡大：新築市場の縮小に対して、リフォーム・リノベーション需要が上昇。
- ▶ DX 補助金や事業再構築補助金などの活用による業務改革。

【Threats | 脅威】

- ▶ 木材価格の乱高下と為替の影響：国際的な供給不足や円安の影響により調達コストが不安定。
- ▶ 人材不足と熟練工の高齢化：製材・加工における技術継承が困難に。
- ▶ 輸入材への依存とサプライチェーンリスク：国際情勢や災害により物流が寸断される恐れ。
- ▶ 建設需要の地域偏在：都市集中型需要により地方での案件減少。
- ▶ プラットフォーム型建材 EC の台頭により価格競争が激化。